

ほっこりエピソード

～8.6 平和記念式典での車いす介助ボランティア活動より～

被爆70周年を迎えた今年、県内外からたくさんの方が式典に参加されました。その中で車いす介助ボランティアとの様々なふれあいがありました。

参列された被爆者の方から「来年もここに来られるように、これから1年元気にお祈りね。来年もまた、車いす介助をお願いしますね。また、会いましょう！」という言葉をいただき、手を振りながらお別れしました。温かいことばに心がほっこりした瞬間でした。やってよかったと無事に活動を終わりました。



ボランティア情報センターに登録している団体紹介

健福大同窓会

広島県高齢者健康福祉大学の各期卒業生で結成されたグループが、「健福大同窓会」です。

毎年、地域社会への貢献の一つとして、平和記念公園の一斉清掃に参加し、その後に、平和学習を行なっています。平和学習は、被爆体験をされた方から直接お話を伺い、戦争や原爆投下の出来事、戦争を語りつく意味を理解するために行なっています。

また、今年は健福大同窓会が主催し、各期の活動報告を行なうイベントの企画・準備をしています。

活動内容 ● 平和記念公園一斉清掃

- 広島県高齢者健康福祉大学修了生が組織する、各期会、地域同窓会の支援
- 広島市・広島県西部地域・呉地域でボランティア活動を展開中

お問い合わせ

広島市ボランティア情報センター
TEL:(082)544-3399
FAX:(082)544-3404

市民福祉ネットワーク“ひろしま”の加入団体紹介

J A 広島市 助け合いの会「ふれあい倶楽部」

活動内容 ● 生活援助・身体介護など会員相互の助け合い活動を行なう有償ボランティアグループです。サービスを届ける協力会員と、サービスを受ける利用会員で構成され、協力会員の知識習得のために研修会も行なっています。

対象地域 J A 広島市管内(広島市及び広島市近郊)

対象者 協力会員:「ふれあい倶楽部」の理念と活動に共感して下さる方
利用会員: J A の組合員とその家族、地域住民でホームヘルプサービスが必要な方

お問い合わせ

J A 広島市助け合いの会
「ふれあい倶楽部」事務局
TEL:(082)870-3511
又は(082)810-2345

編集後記

平成26年8月20日の豪雨災害から1年が経ちました。今号では、被災した地域で自主的に行なわれている「ミラクル・すまいるカフェ」や、発災から現在まで安佐南区で活動を続けてくださっているボランティアさんへの取材を行ないました。この紙面を通じて、被災した日から、カフェを行なうまでの地域の方の想い、初めて災害ボランティア活動に携わり、1年以上活動を続けてくださっているボランティアさんの想いをみなさんにお伝え出来たらと思っています。また、大学のボランティア窓口への取材では、学生のボランティア活動の現状についてお話を伺い、改めて社協と大学が連携し、学生を応援することの大切さを実感しました。これからも、ボランティア活動に携わる方々の元へお伺いし、みなさんにボランティアの生の声をお届けします！

広島市ボランティア情報センター

NEWS

No.34
2015年9月発行



ふれあいネットワーク 〒730-0052 広島市中区千田町一丁目9番43号
社会福祉法人 広島市社会福祉協議会 広島市社会福祉センター内 ボランティア情報センター TEL(082)544-3399
E-mail:voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp FAX(082)544-3404
URL <http://shakyo-hiroshima.jp/>

インタビュー してきました!

安佐北区
復興連携センター
すまいる

横田 順子さん

ミラクル・すまいるカフェ世話人



新建集会所では、昨年の8月20日の豪雨災害をきっかけに、地域の方が気軽に集える場として「ミラクル・すまいるカフェ」を毎月開催しています。

昨年の11月から地域の方である横田さん、森岡さん、桑田さん、林さん、井手中さんの5人を中心として、企画から準備まで行なっています。

その中で中心的な存在の横田さんにお話を伺いました。



▲左から藤井さん(すまいるスタッフ)、森岡さん、横田さん、吉田さん(すまいるスタッフ) 下:桑田さん

Q1 ミラクル・すまいるカフェを始めたきっかけは?

災害発生後、毎日来てくださるボランティアの方へ少しでも手助けができればと思い、地域のみならず、新建集会所に集まり、水の配布や活動場所までの案内など行ないました。

土砂撤去の活動が落ち着いた11月には、新建集会所に人が集まらなくなり、少し寂しい気持ちになりました。

もう一度、地域のみならず集まらいたいと思い、復興連携センターすまいるのスタッフに相談し、11月に初めて「ミラクル・すまいるカフェin新建」を開きました。

Q2 ミラクル・すまいるカフェについて教えてください!

月に1回開催しています。みんなで食事を楽しんだり、マッサージのボランティアさんに来ていただいたり、その月ごとに企画を考えます。

当初、カフェに来ていた方の多くは、被災したばかりでした。参加費を無料にしていたため、

「私は被災していないから…」と遠慮された人もおられたようです。



▲カフェの様子

今では、参加費を少しいただき、被災の有無に関係なく、地域のみならず集まっています。「カフェに行きやすくなったよ」という声も聞くようになり、毎回20名～30名が集まっています。

Q3 安佐北区復興連携センターすまいるは、どんな存在ですか?

発災当初から、何かあれば相談できる場所で、スタッフの吉田さんや藤井さんの存在は、とても心強いです。何気ない会話をしたり、悩んだときは相談したり、私たちにとって、心のよりどころとなっています。

Q4 横田さんにとってのミラクル・すまいるカフェとは??

地域の人とふれあえて、素敵な笑顔がみられる場所!

普段、家の近くで会う時とカフェで会う時のみんなの表情が全く違います。カフェを通して、より心が近くなりました。

地域のみならず集まることができ、ちょっとした話ができる場所は地域に必要なと改めて感じます。

これからも気長にやっていきたいと思っています。



▲「安佐北ミミの会」によるハンドマッサージ

